

JANOG42 Meeting in Mie

三重県津市

7/11~7/13

大学： 法政大学

学年： 学部4年

名前： 森田 雅也

eメール： m2p.quantum@gmail.com

(1) JANOG Meeting に参加した全般的な感想

JANOG Meeting のプログラムは、大学での授業とは全く違ったものであった。どこが違うのか考えたが、おそらくネットワーク運用者同士が対等の立場で、実際に起こった問題を共有し、議論し合うことが新鮮に感じたからだろう。大学でのネットワークの授業は、IPv4 の IP アドレスの計算などを先生から教えてもらう。当然こういった勉強も必要なのだが、JANOG で聞いた IPv6 運用についてなどの実務的な内容にとっても興味が惹かれた。

基礎と実践の違いを少しだけ体験でき、非常に楽しかった。またそこに、基礎があって実践的な運用ができるといった、ネットワーク技術の奥深さを感じることができた。

(2) JANOG Meeting に参加して得たこと・今後やりたいことなど

こういった技術者の集まりに初めて参加したが、今後も JANOG 以外にも積極的に参加しようと思った。今回の JANOG では、今まさにネットワーク技術を仕事にしている方々とお話する機会を得たことは収穫だったと今では思っている。

懇親会でずっと話していた方は、こういった集まりに参加して技術の流行を知ることは実務をやって行く上で重要だと言っていたのが印象的であった。また、VPS などでサーバを運用するなど手を動かすことを学生のうちにやっておいた方が良いと言っていたのは、自分自身も大切なことだと思ったので、ぜひやってみようと思っている。

(3) JANOG Meeting で印象に残ったプログラムとその感想

多くのプログラムが印象に残っているが、一日毎で挙げるとすると、以下のプログラムを挙げる。

Day1 「[BoF] サイバーセキュリティ BoF # 3」

Day2 「通信エンジニアが知っておきたいイマドキの電力業界事情」

Day3 「つぶらな瞳で総務省 - 障害の情報提供制度について」

まず初日のサイバーセキュリティ BoF であるが、企業がサイバー攻撃を受けた際にどこに報告すべきかななどの話し合いが行われていた。内容は実務寄りであり理解できることは多くはなかったが、実際にこういったサイバー攻撃報告を受けたなどを IPA や JPCERT の方々がとても面白く話していた。攻撃 IP アドレスは実際は日本の IP が使われていることの方が多いという実情を聞いたが、攻撃 IP アドレスは外国からの攻撃が多いことから外国の IP が多いと思っていたので驚いた。

二日目は電力業界事情についての講演が印象に残っている。現在、欧州での電力市場の自

由化の話は自分では全く考え付かない内容で非常に興味深かった。現在の日本の電力会社の中央給電司令所がコントロールする電力市場が今後変わっていく可能性が十分にあると感じた。再生エネルギー事業に IT 企業が多く関わるようになっており、電力市場と IT 市場が深い関係になっていくという予想がされている。今後、電力業界を注視する必要があると思った。

3 日目は総務省の高村さんと呼んで、ネットワーク障害が起こった際の ISP の情報提供などについての話で、笑いが多く起こっていたのが記憶にある。役所の事情などを面白く話しており、興味深く聞くことができた。役所が発行する報告書を通して、役所側の立場としてのネットワーク技術の考え方などを知ることができた。企業と役所の連携の必要性など今後も考えていくべきことが多くあると気付かされた。

(4) その他、各自で JANOG・自分に対して思った感想・目標

今回の JANOG では多くのプログラムを聞いたが、理解できてないことも非常に多かった。足りない部分を勉強し、知識を補完していくことが重要だと思っている。今後も JANOG 含め技術者の集まりにはできるだけ参加するようにしたいと考えている。また、懇親会で言われたように手を動かして技術を学んで行く必要があると思うのでやっていきたい。